



私たちの活動から

和光市青少年育成推進員会長 大坂 良子

私たち青少年育成推進員会では、子どもたちの健やかな成長を願いより良い環境作りを目的として、次の活動に取り組んでいます。

『青少年をまもる店』 協力店活動

あひるのマークのプレートを店内に掲示して地域の子ども達を見守っていただい

ます。当初は、子どもたちの店での様子〈万引き・タム口〉を見てもらいましたが、近年は登下校時や買い物の行き帰りも危険なことがあるので、お店側から見えるところで危ないことに遭いそうな場合や困っているときなど助けてくださるようお願いをいただいています。

この活動は 1987 年に、157 店の協力店で始まりました。19 年目になる現在は 231 店となっています。協力店の皆様、地域の皆様の協力をいただきながら、子どもたちが明るく健やかに育つ環境作りに努めていきます。

自動販売機『有害図書、 ツーショットカード』の撤去

1985 年ごろは、市内に 18 台ありました。学校の近くにもあり、地域の皆様やお店の方にご協力をいただき撤去活動が続けました。現在、市内には 1 台も

ありません。再び設置されることのないよう、地域の皆様と見守っていきます。

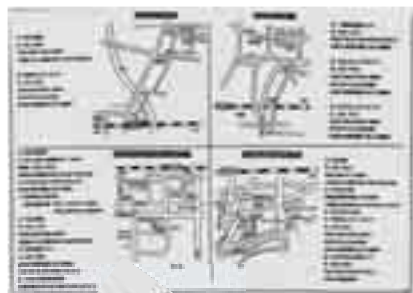
『図書マップ』の発行

優良図書の普及ということで 1997 年より図書マップを作成しまして、毎年 4 月市内の保育園・幼稚園・小中学校の児童生徒に配布をしています。子どもたちが良い本にふれ、読書の習慣を身につけてほしいと願っています。

会報『あひる』の発行

私たちの活動から、皆様に伝えたいことを活字にして、『あひる』を年 2 回（3 月・9 月）発行し、広報わこうと同時に全戸配布をしています。是非、ご覧ください。

今後も、皆様のご協力をいただきまして、この活動を続けてまいりますので、よろしくお願いいたします。



図書館や地域文庫の場所・利用方法を紹介したパンフレット「図書マップ」

34名の青少年育成推進員が歩きました！

今年も7月中旬ごろから、右記のプレートが掲示してあるお店を1軒ごとに訪問しました。お店が忙しい時間帯であったり、店長さんが留守のときがあったりしますが、そんな時には再度訪問をして地域の様子、子どもたちのことを伺いました。その中から、抜粋して掲載します。

地域の一人ひとりの



地域のお店・コンビニ・駅前商店街など、このプレートが掲示されています。

※（ ）内は協力店舗数

書店・(7) 文具店



- カードゲームが大流行した頃と比べると、子どもの来店が減ったようにみえる。
- 自転車で来る子どもの中に、自転車の止め方のマナーができていない子どもが目立つ。
- 店先に放置自転車の大人も、子どもも多い。

ファミリー (16) レストラン



- 22時以降の未成年者の入店については、保護者同伴であることを伝えて帰ってもらうようにしている。ただし、私服だと見極めが難しい。
- 時折、暴走族のようなバイクが来たことがあり、注意をして帰ってもらったことがあった。

スポーツ (12) 用品店

- 小中学生のほとんどが店の周辺にごみを捨てていき、マナーがよくない。
- 小学生の言葉遣いが悪く気になる。

自転車 (11) バイク店



- 登下校の子どもたちがあいさつを交わしてくれる。
- 子どもたちを連れてくる親のほうのマナーを守ってほしい。

飲食店 (22) (居酒屋など)

- 駅前のマナーが良くない（自転車の置き方・通行人）。
- 親子連れのマナーが悪く、親は話に夢中になり子どもが走り回るので、注意をすると逆に怒られる。

酒・(32) たばこ店



- たまに、明らかに未成年と思える子どもがタバコやビールを買いにくる。
- 子どもたちより若い大人の方がマナーが悪く、食べたものの片づけをしないで帰ったりする。

塗料・(6) 金物店

- 地域を見ても変わったこともなく、落ち着いている。子どもの数が少ないのか、見かけることがほとんどない。

力が子どもを守る!



「家庭の日」シンボルマーク

コンビニ (20) エンスストア



- 店内で立ち読み、商品を傷つけ、大声を出したりして傍若無人な振る舞いをする。
- 店内にビデオを設置し、万引き防止に努めている。

薬局 (8)

- 万引きの常習化、集団化がみられる。
- 万引きの商品は毛染剤、男性化粧品、スタイリング剤などが多く、見つけ次第警察に連絡をするが、その後の親の対応が良くない。

麻雀 (3) ・パチンコ店

- 18歳未満と見られる人に対しては、声かけをしてから断るようにしている。
- 以前、店の周囲にタム口する光景があったが、今は落ち着きが伺える。

スーパー (18) マーケット



- 22時以降、中学生らしい子どもが、店内をうろついている。
- 店内を走り回っている子どもを見かけたときには、事故防止のためにも厳しく注意をするようにしている。
- 中高生の服装の乱れが目立ち、気がかりである。

ビデオ (5) レンタルショップ

- 子どもたちの様子は落ち着いているように見える。
- アダルトコーナーの入口に「18歳未満お断り」の札と「あひる」のプレートを掲示しておく。

美容・(61) 理容店

- 親に内緒で染髪、パーマをかける子どもがほとんどいなくなった。
- 「学生〈青少年〉の染髪はお断り!」と対応をしている。
- お店に来るお客から「不審者が出た」などの情報を聞いたりするので、一人で下校している子どもには、声をかけるようにしている。

カラオケ (4) センター



- 以前に比べ、高校生などの来店は少なくなりトラブルなどもない。
- 18歳未満の22時以降の入店を断っている。電話で退室を促し、青少年にも理解を得ている。
- 喫煙については、気がつき次第注意をしている。

ゲームセンター (6) ゲームソフト販売 ・CDショップ

- 制服で入店し、かばんを放置したままゲームに熱中したり、プリクラを撮っている。
- 下校時に寄る子どももいるが、マナーはよい。

まとめ

広報「あひる」2号を開いてみました。昭和61年の「青少年をまもる店」協力店は157店です。そして、多くの推進員による地道な活動の継続で今231店にもなりました。和光市の青少年の健全育成は、皆様協力店による協力があってこそと改めて思いました。



ふれあい あれこれ

今回「青少年をまもる店」協力店を訪問し、地域の中で多くのふれあいがあることを知りましたので、その中からいくつかをご紹介します。皆さん、子どもたちとのあいさつから、その日の健康の様子なども見守ってくださっています。



子どもたちから 励まされて！

白子1丁目 食品店主

毎朝、開店して間もなく、いつものように店先を掃除していると「おはよう！」「おはようございます」と元気な声が聞こえてきます。ほうきの手を休めて「いってらっしゃい」「気をつけて行くんだよ！」と、何気ない毎日のこのふれあいが私たち年寄りには最高なんです。

ちょっと風邪などを引いていると「大丈夫？早く治ってね」と心配してくれます。子どもたちの元気さと優しさに、私たちは励まされています。そして、子どもたちを見守っているつもりが、実は見守られているのかもしれない。子どもってかわいいですね。



子どもたちは 今も昔も…

本町 自転車店主

和光の子どもたちは皆、素直でいい子が多いです。これは、ひとえに両親の協力、周囲の人々の支え、環境がしっかりしているからこそと思っています。

店の前を登下校で通る子どもたちにはいつも「お帰り！お疲れ様！」と声をかけているのですが、今では、子どもたちの方から「おじさん、ただいまー」と元気にあいさつをしてくれます。そんな素直な子どもたちを見ていると周りの環境の大切さをより強く感じます。

人間関係が希薄になりつつある昨今『いつも、周りの大人たちは温かく見守っているから…』ということを感じてもらいたいし、自分も、子どもたちの笑顔にふれるたび、若いエネルギーをもらっています。

平成18年度 青少年育成推進員名簿

敬称略（◎会長 ○副会長）

◎大坂 良子 地域代表
○大谷 鉄子 地域代表
栗原千賀子 地域代表
永井 容子 地域代表
内藤 礼子 地域代表
畠山小百合 地域代表
大泉 久子 地域代表
布施恵利子 地域代表
私市久美子 地域代表
中尾 真弓 地域代表
上野 尚美 白子小学校
阿部かつみ 白子小学校

古賀 章予
田島 暁子
田中 妙子
川角小百合
佐々木広子
倉本美加子
井殿理恵子
榎本 道子
大鹿 順子
肥後 栄江
中山 恵
奥山 明美

新倉小学校
新倉小学校
第三小学校
第三小学校
第四小学校
第四小学校
第五小学校
第五小学校
広沢小学校
広沢小学校
北原小学校
北原小学校

浜野 玲子
本橋 麻里
中山 賀世
大崎 康代
宮原 典子
藤村 文子
加藤 信子
仲根 由美
井上 明次
別所 早苗

本町小学校
本町小学校
大和中学校
大和中学校
第二中学校
第二中学校
第三中学校
第三中学校
公募
公募